

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E149P014		音楽実技基礎 (Basic Practical skill of the Music)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
その他	1	3	教育学部			氏名 田中星治 他 E-mail tanaka@oita-u.ac.jp 内線 7618												
授業の概要	小学校教員に必要なピアノ技能、歌唱能力を身につけるとともに、小学校歌唱教材の弾き歌いの技術を習得する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 ピアノの初歩的な演奏ができる。																		
目標2 発声の基礎技能に基づく歌唱ができる。																		
目標3 小学校歌唱教材の弾き歌いができる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 ガイダンス																		
2 小学校音楽の鍵盤楽器の扱いについて																		
3 ピアノ演奏の際の指の独立について																		
4 ピアノ演奏の際の指のトレーニングについて																		
5 ピアノ演奏の際の強弱の表現について																		
6 ピアノ演奏の際のフレーズの表現について																		
7 ピアノ演奏の際のアクセント、スタッカートの表現について																		
8 歌唱における発声について																		
9 歌唱における発音について																		
10 声の響きについて																		
11 弾き歌いにおける声と伴奏のバランスについて																		
12 弾き歌いの実践。小学校歌唱共通教材「春の小川」等																		
13 弾き歌いの実践。小学校歌唱共通教材「もみじ」等																		
14 弾き歌いの実践。小学校歌唱共通教材「ふるさと」等																		
15 まとめ																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	個人レッスンの形態をとるが、他学生のピアノ演奏や弾き歌いに対して、コメントする時間を設ける。					工夫	その他の	小学校児童の音楽的能力を高めるための表現技法の可能性を模索する。									
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備	指定された教材を練習する(15h)。																
	事後	レッスンでの指摘を踏まえて教材を再度、練習する(15h)。																
教科書	教科書は指定せず、楽譜のプリントを配付する。																	
参考書	適宜指示する。																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	授業への参加度	60%																
	試験	40%																
授業時の指示に従って練習に取り組んでいるかどうかを、評価の主な観点とする。																		
注意事項	A、Bクラスは前期、C、Dクラスおよび特別支援コースは後期に開講する。																	
備考	令和5年度は不開講																	
リンク																		
	URL																	